

「地域とともに学ぶ高等学校環境教育推進事業」事業計画書

管内	網走	学校名	北海道佐呂間高等学校	
校長名	小池紀文		電話番号	01587-2-3653
設置学科(生徒数)	普通科(130名)			
応募の種別	(スーパー・ネイチャー・ハイスクール ・ 環境教育プロジェクト校)			
実践研究のテーマ(主題)	佐呂間の自然に学ぶ環境教育の推進			
ねらい	佐呂間町及びその周辺地域の自然環境についての理解を深めることによって、生徒の環境問題に対する興味・関心を高め、環境保全の意欲や、主体的に環境に配慮し行動するとともに、よりよい環境を創造していこうとする態度を育成する。			
実践 計画	1年目 (H20)	1 教科等における学習 (1) 佐呂間の自然環境における生物の多様性を学ぶ(3年生物 他) (2) 資源の有効利用を考えた消費行動を学ぶ(2年家庭総合他) (3) 地域の人材を活用したフィールドワークの実施(木育:江刺徳明様他) (4) 東京農大オホーツク校と連携(野生動植物の生態系の保全について学ぶ) (5) 関連施設の見学(産業廃棄物処理場、水産廃棄物処理施設等) 2 自然を利用した学校行事の推進 (1) 清掃活動等を通じて環境保全意識を高める(サロマ湖キムアネップ清掃等) (2) PTA共催による地域の人材を活用した学習会等の実施(「佐呂間の自然環境について」佐呂間町長 堀 次郎 様、「木育について」:江刺徳明 様他)(対象:生徒、保護者、地域住民) 3 研究成果のまとめ(中間報告)		
	2年目 (H21)	1 教科等における学習 (1) 佐呂間の自然環境における生物の多様性を学ぶ(3年生物 他) (2) 資源の有効利用を考えた消費行動を学ぶ(2年家庭総合他) (3) 地域の人材を活用したフィールドワークの実施(木育:江刺徳明様他) (4) 東京農大オホーツク校と連携(野生動植物の生態系の保全について学ぶ) (5) 「総合的な学習」を利用したフィールドワークの実施(佐呂間の河川を知る) 2 自然を利用した学校行事の推進 (1) 清掃活動等を通じて環境保全意識を高める。(サロマ湖キムアネップ清掃等) (2) PTA共催による地域の人材を活用した学習会等の実施(「佐呂間の自然環境について」佐呂間町長 堀 次郎 様、「木育について」:江刺徳明 様他)(対象:生徒、保護者、地域住民) 3 研究成果のまとめ(中間報告)		
	3年目 (H22)	1 教科等における学習 (1) 佐呂間の自然環境における生物の多様性を学ぶ(3年生物 他) (2) 資源の有効利用を考えた消費行動を学ぶ(2年家庭総合) (3) 地域の人材を活用したフィールドワークの実施(木育を通して:江刺徳明氏他) (4) 東京農大オホーツク校等との連携(野生動植物の生態系の保全について) (5) 「総合的な学習」を利用したフィールドワークの実施(佐呂間の山林を知る) (6) 佐呂間地区環境マップの作成 2 自然を利用した学校行事の推進 (1) 清掃活動等を通じて環境保全意識の高揚(サロマ湖キムアネップ清掃等) (2) PTA共催による地域の人材を活用した講演会の実施(「佐呂間の自然環境について」佐呂間町長 堀 次郎 様)(対象:生徒、保護者、地域住民) 3 研究成果報告会の実施		

<p>本年度における実施のスケジュール(予定)</p>	<p>5月 清掃活動等(サロマ湖キムアネップ清掃等)</p> <p>6月～7月 佐呂間の自然環境における生物の多様性を学ぶ(3年生物 他)</p> <p>9月 資源の有効利用を考えた消費行動を学ぶ(2年家庭総合他)</p> <p>9月～11月 「総合的な学習」を利用した環境問題学習会の実施 地域の人材を活用したフィールドワークの実施(木育について:佐呂間町在住、江刺徳明氏他)</p> <p>9月～ 東京農大オホーツク校との連携を図る(野生動植物の生態系の保全について学ぶ)</p> <p>11月 関連施設の見学(産業廃棄物処理場、水産廃棄物処理施設等) PTA共催による地域の人材を活用した学習会の実施(「佐呂間の自然環境について」佐呂間町長 堀 次郎 様、「木育について」:江刺徳明 様他、対象:生徒、保護者、地域住民)</p> <p>2月 研究成果のまとめ(中間報告)</p> <p>随時 本校ウェブページにおける活動状況や成果等の掲載 地域の広報や報道機関等における活動状況や成果等の掲載</p>
<p>期待される成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・体験的な活動を通じて、自然環境について科学的に調査、研究、発表を行う態度を育成することができる。 ・地域の自然環境への興味、関心を喚起することによって、郷土の自然環境に対する保全意識を高めることができる。 ・地域の関係機関や人材と協力することで、地域との連携を図り、佐呂間町の自然環境についてのデータを共有することができる。 ・成果の集録を関係機関及び他校や町内に配布することにより、広く佐呂間町の自然環境や本校の教育活動を理解してもらうことができる。
<p>地域や他校への情報発信の方法</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本校ウェブページや学校だよりへ活動状況や成果等を掲載する。 ・地域の広報や報道機関に活動状況や成果等を掲載する。 ・集録を関係機関及び他校や町内の関連施設へ配布する。
<p>その他特に記載すべき事項</p>	<p>なし</p>

【留意事項】 指定期間は原則として3年間とするが、指定校の決定は年度ごとに行う。
事業計画書の計画内容と実際の実践内容が大幅に異なることが明らかとなった場合には、年度途中であっても指定を取り消すことがある。

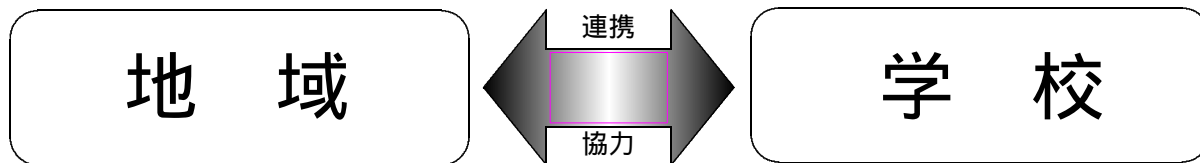
「地域とともに学ぶ高等学校環境教育推進事業」PRシート

管内	網走	学校名	北海道佐呂間高等学校	
校長名	小池紀文		電話番号	01587-2-3653
設置学科(生徒数)	普通科(130名)			
応募の種別	(スーパー・ネイチャー・ハイスクール ・ 環境教育プロジェクト校)			
実践研究のテーマ(主題)	佐呂間の自然に学ぶ環境教育の推進			

地域とともに学ぶ佐呂間高校の環境教育

学校教育目標

自主性を高め、創造的な知性を持つ人となる。
 豊かな情操を持ち、礼儀正しい人となる。
 勤労を尊び、奉仕を喜ぶ人となる。
 生命の尊さを知り、健康で逞しい人となる。



地域と連携・協力した環境教育の推進

- ・ 地域の人材を活用したフィールドワーク
- ・ ボランティア活動の推進
- ・ 地域の広報誌での紹介
- ・ 地域関係諸機関との連携

各教科等における環境教育の推進

- ・ 各教科等における自然環境の理解
- ・ 自然を利用した学校行事
- ・ プレゼンテーション能力の育成
- ・ 大学との連携

情報の発信

地域の自然環境についての理解
 地球規模における環境問題の理解

- ・ Web掲載
- ・ 学校だより

- ・ 学校評価
- ・ 報告会

環境の保全に配慮した望ましい働きかけのできる技能や思考力、判断力を身につける
 環境や環境問題に対する興味・関心を持つ

よりよい環境の創造活動に主体的に参加し、環境への責任ある行動をとることができる態度

